

いっぽん!

平成18年 第2号

発行 伊藤ふみひろ後援会広報委員会
公式ホームページ URL <http://www.fumihiro-ito.com>

発行責任者 伊藤文博

連絡先 025-562-3988
E-mail f-ito@fumihiro-ito.com

6月定例会

6月定例会が始まりました。26議案5報告3陳情請願が審議されました。

初日を終わっての主なニュースとしては、

一般旅券発給業務の当市への移譲について

パスポートの申請受理、交付業務が10月から糸魚川市で行われることになりました。申請業務は青海事務所、能生事務所でも受け付け、交付は本庁のみでの業務となるそうです。現在は、上越市の県の出先事務所へ行かなければなりませんでしたが、今後はぐつと便利になります。

横町地内の国有地の取得

横町の国道8号の大きなカーブの南側に大きな土地が空いています。国と調整の上で、市街地の広大な面積を確保する機会はそのうちのことから、取得の方針を打ち出しました。当面利用の具体的計画はありませんが、多目的広場としての利用を考えているそうです。



都市交流

「糸魚川市都市交流協会」が誕生し、新たな都市交流の枠組みが決まりました。

姉妹都市

塩尻市（長野県）

清浄な水と緑に囲まれた歴史のまち

友好都市

新ひだか町（北海道）

潮騒と牧歌のオアシス

葛巻町（岩手県）

北緯40度ミルクとワインとクリーン

エネルギーの町

山形村（長野県）

くらしと自然が響きあう村

大野市（福井県）

自然と人が調和しともに創り育てる名水の町

南あわじ市（兵庫県）

「食」がはぐくむふれあい共生の都市

救急医療体制と医師確保対策

危機的状況が4月当初には言われていましたが、平日夜間の一次救急は、開業医の皆さんが糸魚川病院に向き対応していただき、糸魚川方式ともいえる方法で確保できたそうです。

来年以降の産婦人科医の確保には、富山大学（旧富山医科薬科大）からの二つの条件があります。

糸魚川市独自で産婦人科医を一名確保すること。

200件以上の分娩件数を確保すること。

糸魚川病院での分娩数を増やすなど、産婦人科確保のための努力を続けるそうです。



新ひだか町（北海道）

学校防火シャッターの安全管理について

糸魚川市では小学校18校中学校10校、中学校5校中4校で防火シャッターが使用されているそうです。青海地区の4校については作動確認もされていないそうで、14校とも早急に安全の確認を行うということでした。

エレベーターは、定期点検を行っており、異常は確認されていないそうです。

除細動器（AED）配置業務の取り組み

4年計画で45箇所44台の配置を行う予定でしたが、必要な事例や有効な事例の発生を鑑みて、本年全施設に配置するべく補正予算を今議会に上程されました。私もAED講習を受講しました。

青海地域産業団地への企業進出について（初進出です）
小本土工業団地に地元の杉本電気工業が14000平米の借地で修理工場を新設するそうです。

一般質問

今定例会では次の一般質問を予定しています

1. 総合計画などの策定経過について

総合計画案や行政改革案の策定業務が進められています。その策定の検討過程について伺います。

この一年間に総合計画の中で検討されなければいけない課題として取り上げられたものは何件あり、主なものには何があつたか。

その課題を検討し計画（改善策）を立てる手順はどのように定められていて、どのように行われたか。

その課題がどのように各計画案策定の段階で盛り込まれたか。

行政改革大綱や実施計画の策定過程に、日常業務の中で浮かび上がった課題がその改善策を含めて活かされるシステムは構築されていて、有効に機能しているか。



2. 少子化対策及び子育て支援について

昨年の6月議会で「少子化対策」について質問しました。その後の庁内の検討の進み具合について質問します。

国が担当大臣まで新設して「国の最重要課題」と位置付けているこの問題に対し、糸魚川市では未だにその方向性が見えていません。

地域間競争が言われる中、今後糸魚川市として先例を研究しながら独自の又は特徴ある少子化対策・子育て支援にどのように取り組むのか伺います。

須沢地区「子育て支援推進モデル地区」の取り組み事業の検討状況はどうなっているか
「須沢児童クラブ室」の開設についての検討状況はどうなっているか、地元との協議の進行状況は

モデル地区の取り組みをどのように全市に展開するのか
糸魚川市独自の、又は、特徴ある「少子化対策」についての考えは、その後どのように検討し、現在の考え方はどうなっているか
同様に「子育て支援」の考え方は

質問の趣旨

私の昨年6月議会一般質問への答弁で、「『少子化対策』については総合計画の中で検討します、反映します」と明確に答えていたのにも関わらず、総合計画（案）にはすつぽり「少子化対策」が抜けていたことから、浮かび上がってきた業務手法の問題点をチェックしようというものです。

昨年一般質問の一部
伊藤（少子化対策について）今までの前例にとられない施策が必要だと思われませんが、その点につきましてどのようにお考えでしょうか。

福祉事務所長 先ほども市長が答弁いたしました。何らかの少子化に歯止めを掛けなければならぬと、新しい施策につきましては、総合計画に具体的な施策を考えたい、反映したいと言うことでもあります。

計画策定の手順に大きな問題があるのではないかと（審議会の審議過程がどうこういうことではなく、案にあがっていない課題を見つけたことは至難の業）チェックリストにない項目はチェックできない）
・課題のリストアップの手法
多角的な側面や業務の段階からリストアップの手順が定められているか、また、リストアップされた課題の取扱いの手順は定められているか

「総合計画のための課題をリストアップしなさい」と言われても、日常的に整理されていなければ、落ちが出るのは当然である。日常業務の色々な段階や場面で浮かび上がった問題点を、一箇所に集約し、検討処理されるシステムが必要ですよ。

・前例を踏襲しているだけなのではないか。

旧1市2町の総合計画をひな形に、なぞっただけではないのか？

議会での答弁についての重要性の認識が希薄なのではないか。

議会の一般質問や議案審議の中で、検討すべき課題として浮かび上がったものを、どのように整理しているか。

などの点から、この間ずっと言い続けてきている業務改善の手法PDC Aサイクルの構築について、チェックを入れたいと思っています。

また、須沢を子育て支援モデル地区に指定しながら、「放課後児童クラブ」の展開が頓挫状態になっています。設置主体について行政側の意向と住民の参画意識がマッチしないためですが、玄関先から一歩も入れない状態を是正したいと思っています。

大切なのは住民が求める「須沢児童クラブ室」を設置運営することです。すから、まず、住民に受け入れられる形でスタートし、次の段階として市の理想としている運営の形に持ち込むべきでしょう。